

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	CLT 構造設計資料作成小委員会	主 査 名：安村 基 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>CLT を用いた構造要素の力学特性に関する基礎資料を収集し、構造設計に必要な基礎資料を整備することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度：CLT の材料特性、壁・床パネルの力学特性、接合部の力学特性、諸外国における設計法に関する資料の収集。 ・2 年度：初年度の継続。床パネル、壁パネルの設計法の検討。 ・3 年度：2 年度の継続。鉛直構面および水平構面のモデル化と設計法の検討。 ・4 年度：CLT 構造における各部構造の設計に必要なとなる資料の整備。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：安村基(静岡大学) 幹事：榎本敬大(建築研究所)、三宅辰哉(日本システム設計) 委員：青木謙治(東京大学)、荒木康弘(建築研究所)、五十田博(京都大学)、岡部実(ベターリビング)、河合直人(工学院大学)、木林長仁(日本建築センター)、小林研治(静岡大学)、鈴木圭(木構造振興)、鳥羽展彰(銘建工業)、中川貴文(国土技術政策総合研究所)、宮武敦(森林総合研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. CLT パネル工法における構造各部の設計の基礎となる資料を収集と、とりまとめの方針の策定を行い、本年度の目標を概ね達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2016 年度に公布された CLT パネル工法に関する国交省告示との整合を考慮し、成果のとりまとめの方針の修正が必要となり、検討に時間を要した。次年度に細部の検討が必要となる。